

2 読み取ったじょうほうを整理して伝えよう！



説明されている内容について、構成を変えてわかりやすく伝えていくために、観点にそって情報を読み取り、整理していきます。同じところ、違うところという観点にそって整理することで、相手に伝える時もその観点で伝えるよさを実感できることを目指しています。

多様性



今回はちがいを読み取って、じょうほうを整理していきましょう。

みなさんは、タツノオトシゴを知っていますか？水族館で見たことのある人もいることでしょう。これは、竜とも言われる想像上の生き物ですが、むかしの人はあの生き物が竜にしているから、「竜の赤ちゃん」という意味で「タツノオトシゴ」という名前をつけたのですね。外国でも、「シードラゴン」「シーホース」「海馬」などよばれるように、ドラゴン(竜)や馬にしているすがたから名前がつけられています。

すがたはずいぶんちがいますが、タツノオトシゴはりっぱな魚です。ヨウジウオという魚のなかまです。魚ですが泳ぐのはあまり得意ではなく、海そうなどに尾をまきつけてじっとしていることが多いのです。だから、タツノオトシゴの尾び

れはほとんどなくなっています。

魚らしい部分ももちろんあります。まず、こきゅうをするためのエラが顔の横にあります。また、まるで流されているようにゆっくりとしか泳げませんが、泳ぐときには、むなびれや背びれを使ってバランスをとっています。

こんなふしぎな魚、タツノオトシゴには、まだまだたくさんふしぎがあります。

(考えるカ・プラス講座編集室書き下ろし)

わからないところがあつたりしたら、おうちの人に聞いてみよう。



問題1
① タツノオトシゴは、外国では何という名前がつけられているでしょう？

② なぜ①のような名前がつけられたのでしょうか？

問題2
日本でのよばれかたと、外国のよばれかたでは、どんな点が同じでしょう？

技 問題3
上の文章から、タツノオトシゴと魚の「同じところ」「ちがうところ」を読み取って表に整理してみよう。

タツノオトシゴと魚のちがうところ	タツノオトシゴと魚の同じところ

別のものをつまみかきつけて同じところやちがいを整理してみよう。わかればいいね！

見直しをしてからおうちの人の名前をつけてみよう。